



地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町 2 丁目 1 - 1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>

新年度のご挨拶

病院長 松本 圭吾



令和6年度の始業にあたりご挨拶を申し上げます。

昨年5月にコロナ禍3年半でようやくウイルスの扱いが2類から5類になり、コロナウイルスの扱いもインフルエンザ並みとなりました。これにより、一応、体制としてもポストコロナの時代に入ったといえるのではないかと思います。

そのポストコロナの時代に入り、先般、開設法人である JCHO からアクションプランが示されています。その内容には、1. 良質な医療の提供、2. 現場目線での情報システムの整備 3. 広報戦略の刷新 が挙げられています。当院としては、地域医療支援病院の使命である救急医療の提供、紹介・逆紹介の推進、教育研修の実施を基軸に JCHO アクションプランを加えて具体的な行動に移していきたいと考えています。

良質な医療の提供には医療安全と感染対策が基本的であり、当院においても管理体制も含めて一層強化していきます。情報システムの整備としては、昨年度に電子カルテ、院内ネットワークを更新しましたが、地域との ICT での連携の構築には内外ともに課題が多いもの取り組んでまいりたいと考えています。一方で、マイナカードの医療での利用促進は国の施策でもあり、住民の皆様にも、是非、マイナ保険証として広くご活用いただけたらと思っております。広報につきましては、この「つばさ」を中軸として、病院パンフレットの「JCHO 神戸中央病院のかかり方」を引き続き発刊し、診療内容をお知らせいたします。市民医療セミナーは、昨年度、コロナが5類になり、6月、2月と2回、開催いたしました。引き続き本年も開催いたしますので是非ご参加をお待ちしております。

当院には、今春、医師16名を含む78名が新たなスタッフとして加わりました。

このフレッシュな力を得て更に地域医療に貢献してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

近隣医療機関のご紹介

西クリニック

〒651-1201 兵庫県神戸市北区西大池1丁目3-22
TEL:078-581-5478

診療科目：
外科
胃腸科
内科
循環器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
17:00~19:00	●	●	●	×	●	×	×

休診日/木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



西 耕作 院長

私は大学卒業後外科教室に入局し、主に消化器外科に携わってきており、出向病院は殆ど救急病院であったため外科疾患のみならず他科疾患についても経験してきました。

当院は昭和44年に神鉄大池駅前が父が開業し、開院当初、冬は毎日のように雪が降り、家の窓は結露が凍り付き開閉できず、電車が止まることもありました。夏にはエアコンのない時代でしたので色々な営業の方が涼みに来るなど、まるで雪国のようで今では考えられません。このような自然豊かな地で当時は医療機関が少なく、内科、外科、問わず様々な患者さんが来院されていたのを記憶しております。平成28年に父の引退に伴い継承し、現在においてもその傾向が続いており、このような患者さんの期待に応えようと毎日悪戦苦闘しております。また、三代にわたって当院に来られる方や小学校の同級生やその父兄なども来院されるなど地域に根差した医療を行っており、今後も神戸中央病院をはじめ各医療機関の協力を頂きながら地域に信頼される医療を提供したいと考えております。今後とも宜しくお願ひ致します。



独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 神戸中央病院 第19回 市民医療セミナー

この度はお忙しいところ、セミナーに多数ご参加いただき誠にありがとうございました。
虚血性心疾患に対する理解と、病院受診後の流れが何となくでもイメージしていただけたでしょうか？胸の痛み等の気になる症状があれば、お気軽に当院循環器内科にご相談ください。また、今症状のない方も、虚血性心疾患の予防＝動脈硬化の予防のために、生活習慣の改善を心がけていただければ幸いです。



循環器内科 橋本 翔 医師



循環器内科 下田 義晃 医長

下肢閉塞性動脈硬化症は、加齢や高血圧症、高脂血症、糖尿病、喫煙が原因で、下肢動脈に動脈硬化を来し、足に様々な症状を呈する病気です。足が痛むので、整形外科を、皮膚の傷が治らないから、皮膚科を受診される患者さんが多いのですが、実は循環器内科が対応する下肢閉塞性動脈硬化症の症状がもしもありません。検査で一番簡単なものはABIという検査で、ABI値が0.9以下だと下肢閉塞性動脈硬化症の疑いが強くなり、精密検査を進めます。

下肢閉塞性動脈硬化症は、他の動脈硬化疾患を併発することが多く、症状がなくても冠動脈疾患(狭心症、心筋梗塞)、脳血管疾患(脳梗塞、一過性脳虚血発作)の検査をする必要があります。

治療の基本は生活習慣の改善や運動、特に歩くことが重要です。重症になると、基本の治療に加え、薬物治療、カテーテル治療、バイパス手術を行うようになります。足のしびれ、歩くと足がだるい、痛い、足の傷が治らないという症状で気になる方は当院循環器内科の受診をお勧めいたします。

この度はセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。心不全は予後が悪く、早期発見、早期治療が大事です。高血圧や糖尿病など、生活習慣病の段階からすでに心不全は始まっています。かかりつけの先生とともに、しっかり治療をよろしくお願ひします。息切れなど心不全を疑う症状がございましたら、お気軽にご相談ください。患者さん個々によりよい医療を提供できるように、今後も努力して参ります。



循環器内科 木田 遼太 医師

相談コーナー



放射線科



ホール

第20回市民量セミナー 整形外科疾患についてのご案内

日時：令和6年6月29日(土) 13時 開演
場所：すずらんホール

新任医師紹介

カメヤマ マサユキ
亀山 昌幸：脳神経外科



4月より赴任いたしました。地元である神戸の医療に貢献できるように精進致します。よろしくお願いいたします。

ハヤシ ナツコ
林 奈津子：放射線科



画像診断、IVRで皆さまのお役に立てるよう頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

マツシタ ヒロキ
松下 大樹：耳鼻いんこう科



4月より赴任いたしました。神戸での勤務は初めてなので、不慣れな点も多いと思いますが、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

フジハラ カナコ
藤原可奈子：消化器内科



4月より消化器内科として勤務させていただきます。地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

タヤ トシヒコ
田谷 俊彦：循環器内科



4月より循環器内科で勤務させていただきます。以前、専攻医としてJCHO神戸中央病院で働かせていただき、京都府立医科大学を終了し再度勤務することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

ノナカ コウイチ
桒中 広一：血液内科



血液内科で勤務させていただきます。まだまだ駆け出しですが、北区の皆様にご貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

マツマエ ユウタ
松前 雄大：整形外科



4月より整形外科で勤務させていただきます。主に骨折などの外傷において、地域医療に貢献できるように精進致します。どうぞよろしくお願いいたします。

研修医 (任期付)



ユ スンサ
飯 舜士



キタムラ ユウヤ
北村 裕也



イワモト ナツミ
岩本 菜摘



カタオカ アツシ
片岡 篤志



カギタ マイ
鍵田 麻衣



ゴンドウ テツオ
権藤 徹郎



キム ウォン
金 源



ニイジマ ヒカル
新島 ひかる



シノダ ユウノ
篠田 佑乃

退任医師のお知らせ

糖尿病内科：藤井 光広
循環器内科：橋本 翔
消化器内科：呑海 知輝

耳鼻いんこう科：鯉田 篤英
総合内科：桂 敏明
総合内科：河盛 真子

整形外科：寛田 佑介
整形外科：中村 優志
歯科口腔外科：吉位 亮助

脳神経外科：山中 巧
脳神経外科：竹内 康浩

研修医：飯田 高志 清水 光希 戸谷 梨沙 古本 裕 志馬 萌 高木 隆平



子どもの食品による窒息

食品による窒息事故は小さな子供に多い事故です。窒息事故を防ぐためには、その要因と対策を理解することが大切です。

○ 子供側の要因

幼い子供は固いものを噛むことができず丸飲みしてしまうことがあります。また気道に入ったものを咳で押し返すことができず窒息につながる危険性があります。また寝転んだまま食べたり、口の中にたくさん詰め込んで食べたりなど、食事中の行動が原因となることもあります。

○ 窒息につながりやすい食品

①表面がつるっとしている食品

(ブドウ、ミニトマト、ピーナッツ、こんにゃくゼリー、白玉団子など)

②固くて噛み切りにくい食品(リンゴ、生のにんじん、水菜、イカなど)

生後6か月の児がすりおろしりんごを食べた後、窒息がきっかけで死亡した事例があります。

③粘着性が高い食品(餅、ごはん、パン類)

生後10か月の児がパンを飲み込んで窒息死した事例があります。

○ 窒息を防ぐために、小さい子供への食べさせ方

食べ物を小さくして、嚥下できたことを確認しながら与え、合間に適宜水分を取らせる。

例) ブドウやミニトマト等：乳幼児(特に4歳以下)には1/4にカットする

ピーナッツなどの豆類：未就学児(特に5歳以下)には避ける

りんご：離乳完了期までは、りんごは加熱する

(すりおろしても、大きめのカケラが混入する可能性あり)

○ 窒息したら

直ちに119番通報、そして応急処置を開始します。1歳未満の乳児では胸部突き上げ法と背部叩打法、1歳以上の幼児では腹部突き上げ法(ハイムリッヒ法)・背部叩打法を組み合わせ、各々5~6回を1サイクルとして繰り返します。窒息を解除できず意識がない場合は、直ちに心肺蘇生を開始します。

(参考資料)日本小児科学会 こどもの生活環境改善委員会
~食品による窒息 子どもを守るためにできること~

